「雪上車」から
「バイオガス発電」まで、
国民生活、地球環境に貢献

(株)大原鉄工所

題字：武田 双雲

さ き が け

第75回

バイオガス発電機。環境事業の主力製品で、雪上車製造で培ったエンジン技術が多く応用されている。生ごみ・下水汚泥・家畜糞尿等のバイオマスを発酵させて得られるバイオガス(メタンガス)をエネルギー源として発電を行う。発電した電力は売電やプラント内用電力として利用する

雪上車コックピット

雪上車の足回りの部品(無限軌道)の製造工程

雪上車の「フィニッシャー」。雪上車の後方に取り付け、雪を抑え込む(均す)重要な部品

多くの要素技術を伝授し、自然な流れで事業展開

同社製の、新型南極観測用雪上車「OHARA-LAV」。南極で現在使用されている(同社提供)

出荷を待つ、スキー場ゲレンデ整備用雪上車DF350、DF450

企業データ

(株)大原鉄工所

本 社	新潟県長岡市城岡2-8-1		
T E L	0258-24-2350	H P	http://www.oharacorp.co.jp/
創 業	1907(明治40)年10月	創 立	1940(昭和15)年3月
資本金	4500万円	年 商	60億円(2022年5月期見込)
従業員	170名

ロボット選別機「MAX-AI」。AI(人工知能)により、大きさや、色でプラスチック廃材を選別。ペットボトル再生工程などで使用される。「ムダに捨てない」精神を目指す製品